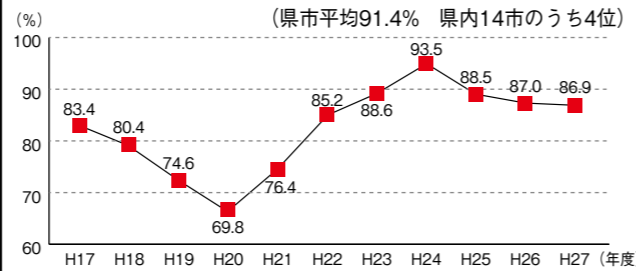


財政指標

自治体の財政状況を分析するための、さまざまな指数を総称して「財政指標」と呼んでいます。財政指標を見ると、亀山市が財政的に健全なのか、そうでないのかがわかります。指標に加えて、市債や基金の残高をグラフで表し分析しました。

経常収支比率 86.9%

「経常的に収入された一般財源」が「経常的経費」にどのくらい充当されているか、その割合を示したもので、財政構造の弾力性を示す指標であり、比率が低いほど弾力性が大きいことを示しています。一般的には75%程度が妥当と考えられ、80%を超えると弾力性を失いつつあるとされています。

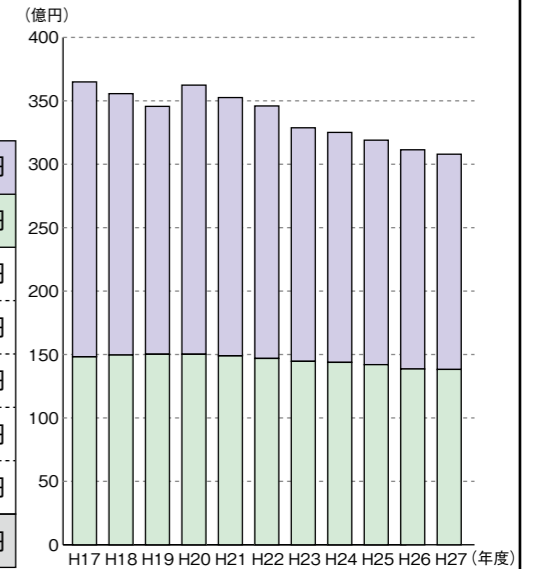


地方債残高 約308億円

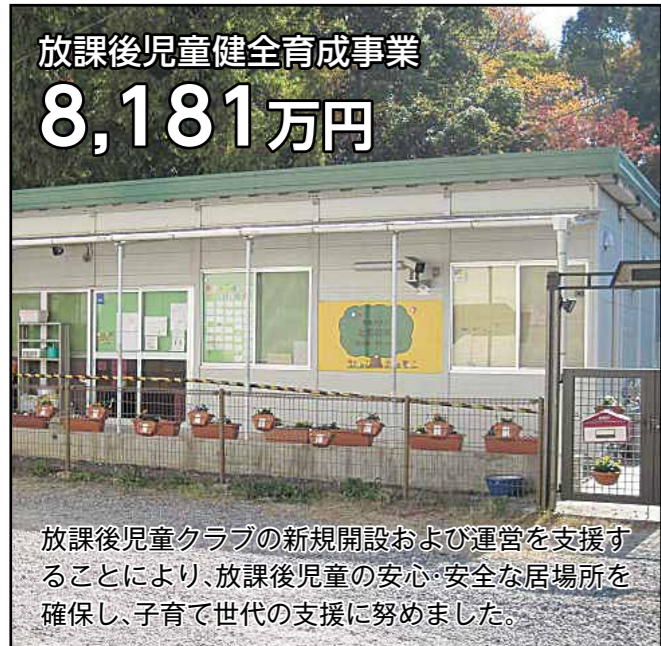
市債は公共施設の建設など、一時的にたくさんのお金が必要な場合の借金で、将来、返済しなければなりません。

これまでに借り入れた市債の残高は約308億円となりました。平成27年度には、新たに約22億円を借り入れていますが、将来の財政負担を考慮し、市債は交付税算入のある有利なメニューを活用した結果、市債残高は7年連続で減少しています。

一般会計	170億1,528万円
特別会計等	138億1,204万円
農業集落排水事業	31億9,050万円
水道事業	19億4,944万円
工業用水道事業	2億7,601万円
公共下水道事業	81億2,774万円
病院事業	2億6,835万円
合計	308億2,732万円



放課後児童健全育成事業 8,181万円



放課後児童クラブの新規開設および運営を支援することにより、放課後児童の安心・安全な居場所を確保し、子育て世代の支援に努めました。

地区コミュニティセンター充実事業 1億2,279万円



活発な地域コミュニティ活動を展開するための活動拠点として、関南部地区コミュニティセンターを新築しました。

地域生活交通再編事業 1億1,304万円



既存バス路線の運行事業を継続し、移動困難者の移手段の確保に努め、亀山市地域公共交通計画に基づき東部ルートエリアの再編を行いました。

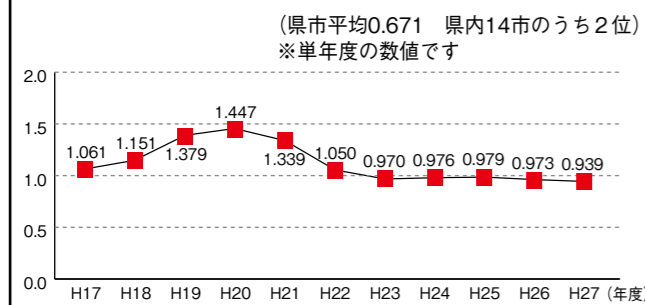
中部中学校クラブハウス建設事業 1億3,408万円



生徒の学校における生活環境の向上を図るため、ミーティングルームなどの諸室を備えたクラブハウスを建設しました。

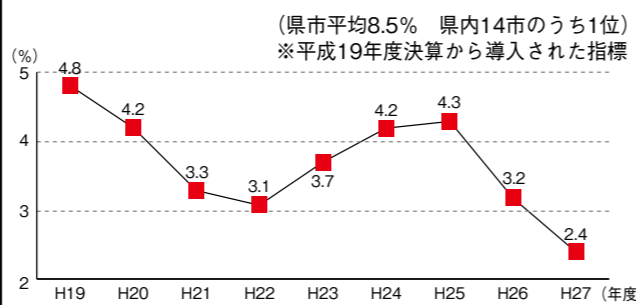
財政力指数 0.939

地方公共団体の財政力を示すもので、一般財源の必要額に対し、市税等の一般財源収入額がどの程度確保されているかを表しています。指数が「1」に近い団体ほど財源に余裕があり、「1」を超えると普通交付税の不交付団体となり、標準的な水準以上の行政を行うことができます。



実質公債費比率 2.4%

地方公共団体の借入金(地方債)返済額の大きさをその地方団体の財政規模に対する割合として表したもので、公債費による財政負担の度合いを判断する指標です。



基金残高 約96億円

法律や条令に基づいて設置される基金は、特定の目的のために活用することができます。

亀山市には平成27年度末で16の基金があり、残高は約96億円となりました。年度間の財源の不均衡を調整するための基金である財政調整基金については、市税の減収などにより繰り入れを行ったため、平成27年度で2億円減少しました。

財政調整基金	42億6,861万円
減債基金	3億8,189万円
国民健康保険給付費等支払準備基金	65万円
リニア中央新幹線亀山駅整備基金	15億5,090万円
下水道事業基金	0円
農業集落排水事業償還基金	1億5,575万円
地域福祉基金	2,871万円
公共施設等基金	3,790万円
ふるさと・水と土保全基金	1,768万円
ボランティア基金	891万円
伝統的建造物群保存基金	468万円
庁舎建設基金	10億円
市民まちづくり基金	9億8,708万円
閑宿にぎわいづくり基金	3億6,797万円
土地開発基金	8億1,438万円
みえ森と緑の県民税市町交付基金	240万円
計	96億2,751万円

